

担い手確保、GX、DXを議論する上での主な論点

担い手の確保

- バス・タクシー事業における人手不足は深刻化を極めており、ドライバーを中心とした担い手の確保は喫緊の課題。即時又はできるだけ早期に、若者や女性を含めた担い手を確保するべく、事業者及び国等の行政が取り組むべき事項について、どう考えるか。

GX

- バス・タクシー事業者にとっても、カーボンニュートラルを実現するため、電動車の導入をはじめとした脱炭素化の取組は必須。こうした状況の中、脱炭素化の事業上のメリットにはどのようなものがあるか。
- 地域公共交通の持続可能性を保つために、バス・タクシー事業者が中期的（5年程度）にどのように脱炭素の取組を進めていくべきか。そのために国や自治体等の関係者として、どのような支援や取組が必要か。

DX

- 自動運転の実現に向けて、安全性の向上、地域の理解、事業性の確保が課題であり、解決には長期的な取組が必要。
- 公共交通への自動運転の導入は、人件費比率の高い現在のバス・タクシー事業において、大幅にコストを削減しつつ、一人当たり賃金の増加等の効果が期待できるなど、より持続的な経営が期待できるが、自動運転の今後の普及に向けて長期的な視点で優先的に解決していくべき課題や実証運行について、どのように考えるか。
- その他のDXの取組についても、主として管理部門の人手不足の解消や、業務の効率化、安全性の確保に資する可能性が大きいが、どのような観点で取り組むべきか。